

令和6年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第1回議事録（要旨）

日 時：4月22日（月）午後6時～8時

会 場：武蔵野市役所 411 会議室

出席者：委員 10 名（中里委員長、横山副委員長、牛田委員、木岡委員、田村委員、金子委員、菊竹委員、北山委員、高橋委員、島津委員）

事務局 3名

1 開会

2 あいさつ 小美濃市長

3 実行委員自己紹介、事務局自己紹介【資料1】

4 議題

(1) 武蔵野市の主な平和事業の取り組みについて【資料2】

- ・事務局より、市のこれまでの平和に関する取り組みについて、概要を説明。

(2) 非核都市宣言平和事業実行委員会の運営等について

①委員長の互選と副委員長の指名について

- ・委員長は中里委員が推薦及び承認され、副委員長は横山委員が指名された。

②委員会の運営等について【資料3-①、3-②、3-③】

- ・事務局より、会議の運営・公開に関する事項について説明。

【副委員長】開場は午後6時、開会は午後6時15分で良いか。

→賛同。

【委 員】第1回目の会議については、傍聴を入れないという運用をされているが、要綱上も根拠がない。他の有識者懇談会や実行委員会では、委員に承認を受けた後、初回から傍聴ができることが多い。なぜこのような取り扱いをしているのか伺いたい。

【事務局】市報の締切等の関係もあり、4月22日に第1回の実行委員会を実施することを周知していない。今回傍聴を希望される方からの連絡もあったが、その方のみ入れることはできないためお断りした。ただ、委員の意見のとおり、第1回から傍聴を実施している会も多くある。次年度からは改善していきたい。

③謝礼について

- ・会議への参加1回について、交通費相当分として1,000円の謝礼を支払う（書面開催を除く）。年度末に1年間分をまとめて指定口座に振り込む。

【委 員】昨年度の謝礼はいつ振り込まれるのか。

【事務局】事務手続き上、4月にずれてしまっている。もうしばらくお待ちいただきたい。

④ボランティア保険について

- ・武蔵野市民社会福祉協議会のボランティア保険へは原則全員加入とするが、既に入っている方は、事務局へご連絡いただきたい。

(3) 令和5年度 平和事業の実施状況及び収支報告について【資料4・5】

- ・事務局より、令和4年度に行われた平和事業について説明。

【委員】平和の日イベントにお呼びした安田菜津紀さんの講師謝礼が22万円となっているが、金額の根拠はなにか。

【事務局】講師との調整の上、決定した。

【委員】実行委員会費は公金である。個人的に講演会を企画しているが、生涯学習事業の助成を申請した際、自治体の講演に関する規則も見た。22万円というのは言い値だったのか。昨年度、実行委員会を傍聴していたが、金額面での了解を取ることがなく、22万円の支出と提示されており、金額も交渉の結果とのことだが、内規もない。この支出はルールに適っているのか。

【事務局】市の事業の統一的な講師謝礼のガイドラインはない。

【委員】こういったところからお金の使い方を考えていかなければならない。私はこの講師が良いか悪いかを言っているわけではない。最近、東京都でも公金の使い方が議論になっているが、もっと透明性を持ってやってもらわないと困る。実行委員会で決議したのか。

【事務局】この額だがどうか？という形では諮っていない。今回の件については、ご意見として承る。今年度の事業については金額についても、実行委員会で諮りたいと思う。

【委員】このことについても、議事録に載せる形でお願いしたい。

【事務局】今年度の事業計画案で予算の一定の枠は提示しており、その枠内で講師の方に交渉していることは事前にお伝えしている。この先の資料6・7で触れる。

【委員】ガイドラインは必要かと思うが、22万円という金額は不適切とは思わない。講師謝礼で30万円くらいの予算としていたと思うが、安田菜津紀さんは名前も知られている方でこの金額は妥当かと思う。また、実行委員では時間などの関係上、講師の依頼などについては市にお願いをしている状況である。

【委員】実行委員の役割として、予算額の検討承認までは含まれていないという理解でいる。意見を出し合うが、支出の可否を判断するのは、委員の役割なのか。

【委員】今の見解は、規則や要綱に根拠のあるものか。

【委員】詳細までは把握していないが、今後検討していく上で、委員の役割については考えたい。

【委員】そこを検討し、お示しいただきたい。

【事務局】このあと令和6年度の予算経費内訳および事業計画案を見ていただくが、平和事業実行委員会への委託料の内訳を資料7で示している。講師謝礼については、従来の形で事業を行った場合の予算額を示しており、その中で収めるようにしている。委託料については、財政課も含めて、確認をして計上している。この金額の委託料をどう使用するかは実行委員会に企画と合わせてお

諮りしたい。

【委員】委託料については、市議会で議論されるのか。

【事務局】委託料については、そうである。

【委員】実行委員会の判断に委託料の配分も任されているということで良いか。講師謝礼の中身について、ここで議論されるべきではないのか。

【事務局】過去には、呼びたい方がいたが予算を超えるため断念したり、逆に、市の事業のため値段を抑えても良いという方もいた。一律の金額を決めるのは難しいが、交渉する中で予算を超える場合は皆様にもお伝えしているため、ご確認いただければと思う。

【委員】公金の使用をチェックすることは、公募委員としての務めだと思う。委託されているため、どのような市民が見ても妥当なお金の使い方をしないとイケない。講師の選定に関してもそうだと思う。そういうことを意識して議論したい。お金の使い方に関しても透明性を持って議事録に載る形で示していただきたい。平和事業の実行委員会は注目を受けており、公金の流れについても、あらぬ誤解を招かないようにしてもらいたい。私も委員の1人となるため、責任を負うためこのようにお伝えした。

【副委員長】年間約160万円の予算が実行委員会に対して、市の財政から支出されている。公金が適切に使用されているか、今後実行委員会としても注視しながら進めていきたいと思う。

(4) 令和6年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会 事業計画(案)及び経費内訳(案)について【資料6・7】

・事務局より、事業計画(案)について説明。

【委員】講師謝礼が45万円や50万円と金額の上限のみ定めているが、使い切らなければならぬわけではない。よりコスト意識や講師の選定を考えていただきたい。

【事務局】毎年、余った金額は精算しており、昨年度は40万円以上返還している。

【委員】なぜ、昨年度が120万円だったら、120万円で予算を計上しなかったのか。

【事務局】年により支出額が異なり、講師謝礼もお願いする方によって金額が変わり、研修会費用も行く場所で変わるため、この金額となっている。

【委員】役所のルールはわかるが、講師の選び方もコスト意識を持っていただきたい。平和事業について、市民のニーズをとらえて講師選定もしていかないといけない。今後の企画についても絡んでくるため、私たちとしても考えていかなければならない。こちらの金額が上限だということについては、納得した。

【委員】講師謝礼について、夏季平和事業については45万円となっているが、平和の日イベントの50万円と5万円の差がある。何か理由はあるのか。

【事務局】明確な根拠や積算の規定があるわけではない。166万円の中で配分をした結果である。

(5) 令和6年度 憲法月間記念行事について【資料8】

・事務局より、講演会について説明。

【副委員長】当日の役割分担を行う。

5月11日(土)講演会「デジタル社会と憲法」 講師：山本龍彦氏

司会：未定

参加予定者：木岡委員、木川委員、牛田委員

5月12日(日)ソロライブ 出演者：松元ヒロ氏

司会：横山副委員長

受付：田村委員、木岡委員

誘導：牛田委員、北山委員

【事務局】変更点等ある場合は、事務局から連絡をする。

(6) 令和6年度 夏季平和事業実施案【資料9】

・事務局より、実施案について説明。

【委員】スケジュールについて、次回以降とおっしゃったが、私が所属する団体で、8月4日に「めぐみへの誓い」の上映を考えている。講師や講演会となると決めなければならないが、どのくらいのスケジュール感で考えているか伺いたい。

【事務局】可能であれば、次回の実行委員会で講師を決めていただけると交渉を開始することができるため、次回決定したいと思う。

【委員】前年度から引き続き実行委員会に参加している方は見ているかもしれないが、初めて参加する者からすると、この中だけで決めるのは困るため、次回の段階で候補があればお示ししたい。昨年度傍聴していたが、資料に記載されているものとそうでないものでは判断材料の問題があると思うため、資料にまとめて反映していただくには、どれくらいまでに事務局に渡せばよいか。

【事務局】会の最後に次回日程を決定するが、5月下旬に第2回を開催したいと考えている。資料作成の時間もいただくため、前の週にはいただきたいと思う。5月の中旬くらいにはいただきたい。

【委員】会の最後に次回日程が決まったら、提出期限を指示していただきたい。

【副委員長】現時点で食体験イベントを実施するか、決定する必要があるため、食体験イベントについて、ご説明いただきたい。

・事務局より、食体験イベントについて説明。

【副委員長】直近だといつ頃実施したか。

【事務局】令和元年12月に行っている。夏季事業ではない。その際は延命寺で実施した。(※「平成27年頃」との発言を訂正)

【委員】実施する場合は、その他のイベントは開催しないのか。

【副委員長】2日間かけて夏季平和事業を実施してきたため、片方の日程で食体験イベントを実施することになると思う。

【委員】ぜひ、食体験イベントを実施したいと思う。コミセンで活動をしているが、食事を一緒にしながら何かをすることは、人の心を柔らかくすることでもあるため、良いと思う。

【委員】何かを一緒に食べながらだと打ち解けたり、引き出しやすいと思うため、食体験イベントが良いと思う。ただ、調理が可能で収容人数を確保できる施設が少ないため、事前の確認が必要かと思う。

【事務局】水回りの完備がされている施設だと、調理施設のあるコミュニティセンター

も考えられる。

【委員】私は吉祥寺南町である。

【事務局】本宿、吉祥寺南町、吉祥寺北、中央、西久保、西部、境南の各コミュニティセンターおよび市民会館には調理施設があるため、こういった施設での実施になるかと思う。また、定員に関しては、調理室に入れる人数に限りがある。中央コミュニティセンターだと調理室で作ったものを、大広間に持ってきて食事することは比較的可能だと思うが、食品に触る人数の管理や作ったものを他の人に食べさせるかみんなで作るのかによって異ってくる。作る体験もするのであれば限定的にはなるかと思う。

【副委員長】定員は20人くらいかと思う。

【事務局】消費生活センターのイベントだと家族10組が定員だったと思う。

【委員】その場合、抽選となったりすることで、不公平さが出てしまうためその部分のケアが難しくなるかと思う。

【事務局】もう一つイベントを実施しないと限定的になってしまうかと思う。

【委員】場所が可能かわからないが、昨年度まで食育フェスタに関わっていたが、保健センターの調理室を使用し、200名ほど入れる講座室で食事をした。そういった施設だと、参加については限定的になるが2部構成で実施することができる。試食する人数なども増えて、イベントを組み合わせることもできるかと思う。

【委員】前回、延命寺で実施した際のご記憶はあるか。

【委員】延命寺は講堂はとても広いため、実施は可能だった。

【委員】食べにくる方については、呼び込み形式で行った

【委員】食事は屋外であるため、不特定多数で構わないが、調理については、人数を決めた。

【委員】作る人は少人数、食事をする方は不特定多数であった。

【事務局】別の部署ではあるが、不特定多数への飲食提供をした際に、保健所から指摘が入ったことがある。規制が厳しくなっており、屋外かつ不特定多数での開催は、保健所の許可が下りないかと思う。

【委員】会場と人数が何名まで可能かについては、次回までに確認して、その結果を見て決定とさせていただいても良いか。

【副委員長】参加の仕方は、調理から参加するのが何名、食事から参加するのが何名か、そういった捉え方でも良いかと思う。

【事務局】自分で作り自分で食べる食イベントは難しくないかと思うが、作ったものを他の方に食べてもらう場合は、作る方が検便を受ける必要がある。そういったことも含めて調べたい。

【副委員長】5月下旬の会議で間に合うか。

【事務局】間に合わせたい。

【副委員長】食イベント以外のイベントについては、5月下旬の1週間前あたりまでに事務局に連絡することとしたい。

(7) 令和6年度 研修会について【資料10】

・事務局より、研修会について説明。

- 【委員】前年度は三笠に行ったと思うが、市ホームページなどで市民が様子を見ることはできるのか。
- 【事務局】ホームページなどには掲載していない。写真は撮っている。
- 【委員】どのような様子か知りたいと思った。
- 【事務局】写真などは撮っているため、次回お見せすることはできるかと思う。
- 【委員】私はYouTubeなどを使用しているため、研修会の様子をYouTubeにアップすることは可能か検討いただきたい。研修会で学んだこともより市民に見ていただきたい。
- 【委員】公金を使用しているため、市民に見えるようにしていただきたい。何をしているかわからないのは、いかがなものかと思う。ただ実行委員の顔が特定されてしまうのは肖像権なども含めて問題があると思うため、検討しながら何らかの形でアピールがないといけないと思う。また、日程については、6月下旬から上旬で決定か。
- 【事務局】日程も含めて検討していく。
- 【委員】学校と関係のある方は、試験等がありこの時期の参加が難しいかと思う。また、過去の実施状況見る限り市外に行くのも良いかと思うが、市内の施設についても一通り見学をしているわけではないように感じる。昭和16年に亜細亜大学が興亜専門学校として設立しているが、校内に興亜神社という神社がある。興亜神社は卒業生で戦没された方をお祀りしているもので、亜細亜大学が管理している。11月3日に慰霊祭がある。また、亜細亜大学の資料館などもある。そこには、戦時中の興亜専門学校の教育なども示されている。また、里見日本文化学研究所など市内に埋もれた戦争関連遺跡が多くある。市教育委員会にもお伝えする必要があるが、中島飛行機の工場のことは大切であるが、そこに焦点が当たり過ぎているため、他の戦争に関する歴史の検証が十分に行われていないと感じている。市内のことであるため、コストもかからないため、遠方の研修会と別途実施しても良いかと思う。そのあたりも含めて検討していただきたい。この後、示されるイベントの候補等の提出日時までにご連絡したいと思う。
- 【副委員長】次回の実行委員会までに意見を持ち寄れるようにしていただきたいと思う。また、猿島や三笠にいった研修会については、参加できなかった委員もいるため、実行委員会内で写真等ご提供いただければと思う。
- 【事務局】市民の方への報告の必要性についてもご意見をいただいたため、報告の方法は今年度から検討したいと思う。

(8) その他

・次回の委員会は、5月23日(木)午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

・夏季平和事業および研修会の案については、5月13日(月)を提出期限とする。

【委員】オンラインでの参加は検討できないか。

【事務局】施設の問題もあるが、検討したいと思う。また、夏季平和事業および研修会の案について、資料に反映しなくても当日ご発言いただくことも可能であるため、ご提案いただければと思う。

- 【委員】今回の議事録は、いつまでにできるか。
- 【事務局】次回の実行委員会までにご提出できるかと思う。
- 【委員】公開も次回までにできるということか。
- 【事務局】次回の実行委員会で委員にご確認いただき、その後公開をしている。
- 【委員】一般市民に伝わるのは、1か月超ということか。会議録は作業量があるかと思うが、運用については理解した。
- 【委員】武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会という名称が気になっており、核については様々な考え方があり、非核という名称のためにこの実行委員会には参加しにくかった。また、非核都市宣言平和事業実行委員であることを口にしたくないと思っている。平和については、皆考えたいことである。非核という文字が参加しにくくなっていることは問題があると思うため、名称の変更を市で検討いただきたい。
- 【事務局】ご意見として承る。ただ、市では非核都市宣言をしており、25周年を機にこの実行委員会ができているため、「非核都市宣言」という名称を外すのは一定の判断を要するものと考え。こういったご意見をいただいたことはお伝えする。

閉会